

フランシスコ関連800周年記念行事

イタリアのアッシジで設立されたフランシスコ会は、1223年に教皇ホノリウス3世から正式に会則が認可され、昨年で800周年を迎えました。（1223年－会則認可、グレッチオのプレゼピオ、1224年－聖痕の賜物、1225年－被造物の讃歌（太陽の賛歌）、1226年－帰天）

これを機に、フランシスコ会日本聖殉教者管区では、フランシスコ関連800周年記念行事を今後いくつか企画する予定です。

ここで、指揮者の三澤洋史が、自身の守護聖人であるアッシジの聖フランシスコにまつわる作品を自ら作曲し、自ら結成した「アッシジ祝祭合唱団」を率いて、7月20日にアッシジの聖フランシスコ聖堂で奉唱します。それに先立ち、国内の皆様へ聴いて頂くために、国内演奏会を記念行事の第一段としてフランシスコ会日本聖殉教者管区協賛で開催します。

7月20日奉唱予定の聖フランシスコ聖堂



・プレリュード

Prelude

・イタリア語の三つの祈り

1 主の祈り

Padre Nostro

2 聖フランシスコの平和の祈り

Pregghiera Semplice

3 アヴェマリア

Ave Maria

・被造物の讃歌（太陽の賛歌）

Cantico delle Creature

・平和のミサ曲（アッシジ版）

Missa pro Pace

作曲・指揮：三澤洋史

エレクトーン：長谷川幹人

ピアノ：三澤志保

合唱：アッシジ祝祭合唱団



アッシジ祝祭合唱団ホームページへのQRコード⇒

主催：アッシジ祝祭合唱団 協賛：フランシスコ会日本管区

2024年6月8日（土）14:00 開演（13:00 開場）

カトリック田園調布教会 大聖堂

東急東横線 多摩川駅(急行停車)下車徒歩 約8分

入場料 1,000円

カトリック田園調布教会ホームページへのQR ⇒





作曲・指揮：三澤洋史

国立音楽大学声楽科を卒業後、ベルリン芸術大学指揮科を首席で卒業。
2001年9月より新国立劇場で専属の合唱指揮者を務める。現在、首席合唱指揮者。
1999年から2003年まで、バイロイト音楽祭で祝祭合唱団指導スタッフとして従事。
2011年には、文化庁在外研修員として、ミラノ・スカラ座において、合唱指揮者ブルーノ・カゾーニ氏のもとでスカラ座合唱団の音楽作りを研修。新国立劇場合唱団を世界のトップレベルにまで鍛え上げた。
2017年11月、その業績が評価され、JASRAC音楽文化賞を受賞。合唱団は、2018年度第31回ミュージック・ペンクラブ音楽賞クラシック部門、室内楽・合唱部門受賞。



エレクトーン：長谷川幹人

北海道函館市出身。各種コンサートでのソロ演奏はもちろん、ミュージカルやクラシック歌手との共演、和楽器とのコラボレーションなど様々な演奏家とも共演しジャンルを問わず幅広い演奏活動を行っている。BS日本のTV番組「エンター・ザミュージック」やTOKYO MXテレビ等、エレクトーン演奏でのテレビ出演も多数。コンサートではほとんどの楽曲の編曲を手がけ、その独創的なアイデアによるアレンジには定評がある。



ピアノ：三澤志保

パリ・エコール・ノルマル・ピアノ科を経て、パリ国立地方音楽院ピアノ科、伴奏科を首席で卒業。フランス各地にて器楽、声楽の伴奏者として様々なコンサートに出演。8年間の留学の後、東京二期会、新国立劇場、びわ湖ホールなどのオペラ公演で稽古ピアニストとして関わる他、リサイタル伴奏、室内楽ピアニストとして活動している。近年では声楽家の為のフランス語指導、研修所等で後進の指導にもあたっている。現在、二期会研修所、国立音楽大学院オペラ科ピアニスト

合唱：アッシジ祝祭合唱団

指揮者であり宗教家である三澤洋史の呼びかけにこたえて、私たちは日本の各地から集まりました。「来年は聖フランチェスコがCantico delle creatureを書いて800周年だ。僕はこの祈りの言葉に感銘を受けて信仰の道に入った。僕の運命を決めたこの詩に作曲するのは僕の運命だ。みんな、これを歌うためにアッシジに行こう！僕の作曲したMissa pro Paceも歌うぞ」



フランシスコ関連800周年サイト



アッシジ祝祭合唱団サイト

入場券・主催者へのお問合せ⇒ assisitkt@gmail.com
今回の入場券は団員からお求めいただきます。
ネット販売・電子チケットのご用意はございません。